

磐田 病院にティーバッグ寄贈

磐田市内の若手茶農家で作る磐田青年茶業研究会(大島諒介会長)は2日、新型コロナウイルス感染症への対応に当たっている医療従事者に感謝の気持ちを伝えようと、市立総合病院に「いわた茶ティーバッグ」1000袋を寄贈した=写真=。

1袋に今年が一番茶を使ったティーバッグ10個が入っている。いわた茶の普及につなげる記念品と



して独自に製造し、これまでに市内小学校4校の1年生にも入学祝いとして贈った。

大島会長が同病院を訪ね、鈴木昌八院長に届けた。大島会長は「終わりの見えないコロナ禍に最前線に対応していただいている。休憩中などに地元のお茶を飲んで心と体を少しでも癒やしてほしい」と話した。